

令和七年度

広島大学光り輝き入試

総合型選抜（Ⅱ型）

文学部 人文学科

小論文問題

分野

日本文学語学

令和六年十月十二日（土）

自 十時三〇分
至 十二時〇〇分

答案作成上の注意

- 一. この問題冊子は、監督者から指示があるまで開けてはいけません。
- 二. この問題冊子は、表紙を含めて二枚、解答用紙は二枚、下書き用紙は一枚です。解答開始の指示後、直ちに枚数を確認してください。
- 三. 受験番号は、すべての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
- 四. 解答は、すべての解答用紙の所定の場所に記入してください。
- 五. 解答終了後は、解答用紙を番号順に並べてください。
- 六. 配付した解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 七. 配付した問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ってください。
- 八. 問題解答時間中は、監督者の指示に従ってください。

総合型選抜(Ⅱ型) 小論文問題

分野

日本文学語学

問一 渡部泰明『古典和歌入門』(岩波書店、二〇一四年)は、「Ⅰ 四季」「Ⅱ 恋」「Ⅲ 雑」「Ⅳ 祈り」の四章で構成されている。著者がこのように構成したのはなぜか。著者の説明に基づき、八〇〇字以内で説明せよ。なお、説明に際しては、各章の内容についても具体的に言及せよ。

問二 『古典和歌入門』の「はじめに」において著者は、「一番大事なのは、作者の心情です」(渡部泰明『古典和歌入門』岩波書店、二〇一四年、iiiページ)と述べている。『古典和歌入門』に取り上げられた和歌の中から一首を選び、その歌がよまれた経緯を著者の記述に即して説明した上で、その歌をよんだ作者の心情について、あなたが関心を持った点や自分なりに考察した点を八〇〇字以内で具体的に記述せよ。